

# 横浜市指定障害児入所施設及び 指定障害児通所支援事業所における 送迎用車両への安全装置導入支援事業

## 事務取扱説明書

対象

放課後デイサービス・児童発達支援  
障害児入所施設

R5.6.2 障害児福祉保健課

# I 送迎用バスに対する安全装置の設置義務化について

## 1 概要

他都市において発生した送迎用バスにおける園児の置き去り事故を受け、子どもの安全確保のため、下記2点が**義務化**されました。

- ①園児の通園や園外活動等のために自動車を運行する場合、園児の自動車への乗降車の際に、点呼等の方法により園児の所在を確認すること。
- ②通園用の自動車（2列以下の自動車を除く）を運行する場合は、当該自動車に**ブザーその他の車内の園児の見落としを防止する装置（安全装置）**を装備し、当該装置を用いて、降車時の①の所在確認を行うこと。

## 2 施行日

令和5年4月1日

ただし、②安全装置については、1年間は経過措置とされていますが、**令和6年3月31日までに設置**が必要です。（国は、夏季が近づくにつれ、熱中症のリスクが高まることを危惧されることを踏まえ、早急な対策を求めています。）

※経過措置期間は、安全装置を装備するまでの間、安全管理を徹底するとともに、所在確認を行ったことを記録する書面を備える等、運転手等が車内の確認を怠ることがないようにするための**代替措置を講ずる**が必要です。

## 2-1 『横浜市指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所における送迎用車両への安全装置導入支援事業』について

### I 補助内容

#### (I) 補助対象車両

児童を乗車させて運行する車両（座席が3列以上のものに限る）

※委託・リースの車両も補助対象です。

安全装置の設置が義務化されない通園用以外の車両でも、補助の対象になる車両があります。（法人所有、法人契約の車両に限ります。）



通園用車両  
行事、園外活動等通園以外の送迎車両



児童が乗車しない車両  
児童が乗車する2列以下の車両

▶下記のバスも、令和5年度中からの運行が確実な場合、補助対象となります。

令和5年度中に購入・運行を開始するバス

現在利用者がいないが稼働予定のバス

▶委託・リースの車両の場合は、運行（契約）台数が補助上限台数となります。  
すでに契約台数分補助を行った後に、車両を変更した場合、その車両に対し補助は行えません。

（例）送迎用バスの運行を2台分契約している場合



## 2-2 『横浜市指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所における送迎用車両への安全装置導入支援事業』について

### (2)補助額

車両1台あたり 最大**17万5千円**※補助額を下回る場合はその設置費用が上限となります。

補助にあたっては、1台ごとに上限額を超えていないか確認します。領収書等において、1台あたりの金額が確認できない場合は明細書等も提出いただきます。



### (3)補助対象経費



- ▶安全装置・機器の購入費用
- ▶安全装置・機器の設置費用
- ▶装置に付帯する機能の通信料等経費  
※ただし、令和5年4月～12月末までに支払いを完了したもののみ対象
- ▶安全装置の設置等に伴い上乗せとなった委託料・リース料（車両が委託・リースの場合）



- ▶安全装置の修理費用
- ▶安全装置の取外費用
- ▶安全装置本体とは独立して機能するオプション機能に係る費用  
（子どもが押すSOSボタン等）  
※ただし、国の安全装置の仕様に関するガイドライン（5.1.7）にて設置が望ましいとして示されている機能を盛り込む場合は補助上限額の範囲内で補助の対象とする。

## 2-3 『横浜市指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所における送迎用車両への安全装置導入支援事業』について

### (4)補助要件

- ①令和4年9月5日～令和5年12月31日の期間に購入又は設置し、支払いを完了すること
- ②設置する安全装置は、国の定める「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」に適合し、国が作成する「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置リスト」に掲載の製品であること。（必ず下記リストからご選択ください）

※R4.9.5以降にガイドラインを満たしていない装置を購入し、当該装置をガイドラインを満たす性能基準に更新する場合には、先行装置にかかる経費と更新にかかる経費について合計した額を補助上限の範囲内で補助します。

送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のリスト

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/anzen/list.html>

- ③安全装置を設置する送迎用バスは、3列以上の自動車であること。
- ④安全装置は、送迎用バス1台につき、安全装置1台を設置することとし、送迎用バスの数以上の購入をする場合は補助の対象外とする。
- ⑤国の「こどものバス送迎・安全徹底マニュアル」を参考に、車両送迎にかかる安全管理マニュアルを策定し、運用すること。

▶こどものバス送迎・安全徹底マニュアル（国）

[https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/anzen/k\\_4/index.html](https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/anzen/k_4/index.html)

## 3-1 申請書について

### (1) 申請期間及び申請方法

令和5年6月5日（月）～令和6年1月19日（金）【必着】

安全装置の購入・設置後、（2）提出書類を1事業所ごとに電子申請にてご提出ください。

（PI0 3-5参照）

### (2) 提出書類 全て必須です。

- ・横浜市指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所における送迎用車両への安全装置導入支援事業補助金交付申請書兼実績報告書（第1号様式）

※様式は指定のエクセルファイルをご利用ください。

入力シート①～③まで入力が必要です。

また、交付決定後の請求書（第4号様式）も同じファイルにあります。

- ・購入した安全装置の仕様がわかる資料（PDF等）

※国の安全装置リストに掲載の製品であることがわかるパンフレット等の資料を添付してください。

※補助対象となる付帯オプション等を申請する場合はその内容が分かる資料を添付してください。

- ・納品書、工事完了届等の写し（PDF等）

※補助対象期間内に納品、工事等が行われたことを確認します。

- ・領収書等の写し（PDF等）

※補助対象期間内に支払いが行われた事を確認します。

領収書にて、1台あたりの金額等詳細が分からない場合は、必要に応じて明細を添付してください。

## 3-2 申請書（第1号様式）の記入について

### (1) 入力シート①情報入力

黄色セルに（1）事業所名～（13）補助対象経費を入力してください。

1施設・1事業所につき、1ファイル作成してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	
	事業所名	種別	設置者 所在地の郵便番号	設置者 所在地	交付通知等の送付先を変更したい 場合	法人名	代表者職名	代表者氏名
説明		プルダウンから選択してください。	事業所・施設ではなく法人等請求者の住所。 半角数字で入力。 ハイフンは自動入力されます。	事業所・施設ではなく法人等請求者の住所にしてください	原則事業所・施設へ送付しています。 法人で受理したいなど、送付先を変更したい場合は、変更先の住所を記載してください。  変更不要の場合は記入しないでください。	法人名。	補助金交付確定後、請求書をご提出いただきませんが、その際に、請求書へ押す印鑑と同じ役職で記載をお願いします。	
例	(事業所名)	放課後等デイサービス事業所	231-0005	横浜市中区本町 6 - 50 - 10	〒000-000 ○○県○○市○○町○-○-○	株式会社ヨコハマ	代表取締役	横浜 太郎
入力欄								



### 3-3 申請書（第1号様式）の記入について

#### (2)入力シート②申請書別紙1 申請内容内訳書

車両1台ごとにかかった経費を確認し、補助額を算出します。

シートの右端に記入要領を記載していますので参考にしてください。

申請書別紙1 申請内容内訳書

- ・車両ごとに、①～⑦を入力・選択してください。
- ・補助上限額は1台あたり、17万5千円です。
- ・⑥及び⑦については、領収書等にて金額を確認します。領収証にて確認できない場合は、明細書などを添付してください。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	使用用途	(その他の場合) 用途詳細	乗車定員 (人)	装置の 認定番号	購入 又はリース	安全装置 購入等費用	取付等諸費用	合計 (⑥+⑦)	申請額
例	通所用	▼	20	A-001	購入	110,000	80,000	190,000	175,00
1								0	
2								0	
3								0	
4								0	
5								0	
6								0	
7								0	

1 ページ



### 3-4 申請書（第1号様式）の記入について

#### (4) 【印刷用】 交付申請書兼実績報告書(第1号様式)

入力シート①③の入力内容が反映されます。  
正しく反映されていることを確認してください。

第1号様式（第7条第2項）			
〈申請先〉 横浜市長		〈申請者〉 法人名	
		所在地	
		代表者職氏名	
横浜市指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所における 送迎用車両への安全装置導入支援事業補助金			
交付申請書兼実績報告書			
横浜市指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所における送迎用車両への安全装置導入支援事業補助金交付要綱に 基づき、次のとおり関係書類を添えて申請及び実績報告します。 なお、補助金の交付を受けるにあたっては、横浜市補助金等の交付に関する規則（平成17年11月横浜市規則第139号）及び横 浜市指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所における送迎用車両への安全装置導入支援事業補助金交付要綱の規 定を順守します。			
1 ページ			
1 施設名・事業所名			

## 3-5 電子申請について

電子申請は、下記より行ってください。 令和5年6月5日（月）～令和6年1月19日（金）【必着】

「横浜市電子申請システム」から

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/e3263b8b-5438-496b-867f-9ca4b007965b/start>

○手続き一覧（事業者向け）＞「送迎用」と検索＞

「横浜市指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所における送迎用車両への安全装置導入支援事業補助金の申請フォーム」



※申請にあたっては、「事業者」としてアカウント登録する必要があります。アカウントをお持ちでない場合は新規登録をお願いします。

※新規登録方法やシステムの操作方法についてのお問い合わせは、サポートセンターまでお願いいたします。（電話番号：0120-329-478 受付時間：9：00～17：00）

## 4 Q & A

	Q	A
1	補助申請後、新たに車両を購入した場合、再度申請は可能か。	追加購入した車両が補助の要件を満たす場合、再度申請することは可能です。 (※リース・委託の場合、契約台数分既に補助が行われている場合は対象になりません。)
2	車検により、代車で運行する場合、代車に安全装置を設置する必要があるか。	車検の代車等、一時的な車両に対し、安全装置を設置する必要はないとされています。設置した場合であっても、補助は行いません。 ※代車利用期間はチェック表を用いるなどの、代替手段を活用して安全対策を行ってください。
3	自園の運行形態の車両、安全装置の義務化対象になるか確認したい。	障害児の送迎や事業所外での活動のための障害児の移動のために運行している車両は義務化の対象となります。 (ex 本園へ登園し、その後バスで分園へ移動(分園への登園)に用いられるバス等) 判断に迷う場合は、国に確認しますので、障害児福祉保健課(5 問い合わせ先参照)にお問合せください。
4	申請期間は延長する可能性があるか。	令和5年6月2日時点では延長予定はありません。 (安全装置の流通状況等によっては、延長の可能性もありますが、その場合は、別途通知します。)
5	令和6年度も同様の補助は実施するのか。	今回の補助は、設置義務化以前に所有している車両に対する補助が目的です。 令和6年度以降は継続しない見込みです。

## 5 問い合わせ

申請にあたっての事業の内容に関することは下記までメールでお問合せください。

こども青少年局障害児福祉保健課

✉ [kd-syogaijitsusyo@city.yokohama.jp](mailto:kd-syogaijitsusyo@city.yokohama.jp)

横浜市電子申請届出システムの操作にあたっての不明点は下記にお問合せください。

横浜市電子申請・届出システムサポートセンター

☎ 0120329478

✉ [support-center@shinsei.city.yokohama.lg.jp](mailto:support-center@shinsei.city.yokohama.lg.jp)

以上